

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	つるおか伝統木構法千年塾(くむんだー山形)		
事業名	木のジャングルジムで森林循環教育と日本の伝統木構法技術体験		
助成事業区分	協働助成事業(テーマ希望型)		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	1,366,112 円
		うち助成金額	1,000,000 円
事業実施期間	令和6年6月13日～令和7年2月28日まで		

事業目的・実施内容	(事業目的)
	子どもの頃から大工の仕事や地元の山・木に興味関心を持ってもらうため、鶴岡産杉材のみで製作した木製ジャングルジム(以下:くむんだー)での活動をとおり、多くの子ども達へ森林循環の大切さと大工職人が支える建設業の重要性を伝える体験活動を拡大させる。
事業目的・実施内容	(実施内容)
	7月12日 事業開始打合せ 8月～ 新規くむんだー製作開始 10月16日 (製作費予算の関係でスタンダード1基、ミニくむんだー2基を製作) 10月19日・20日 つるおか大産業まつり同時開催の森とみどりのフェスティバル出展 2日間で150名が参加 12月～2月 くむんだーPRチラシの内容打合せ・作成 2月～ 完成したPRチラシの配布開始 (鶴岡市内の保育園・小学校・酒田市の豪雨災害で被災した地域など) 2月9日 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ 2月イベントに出展 (子ども55人、大人37人参加)



森とみどりのフェスティバル参加状況

鶴岡工業高校建築科の学生達も、子ども達の面倒を見ながら、くむんだーの組立と解きに挑戦しました。

事業の成果	●活動打合せの結果、今年度は「種まき」の年として、PR活動を行える態勢とアイテム（チラシ等）を整え、無料出展で対応が可能なイベントでPR活動を行った。 ●これまでも参加していた「森とみどりのフェスティバル」では、基金のおかげで屋内出展できるように備品を揃えられたため、初めて屋内出展で参加できた。 ●自然学習交流館ほとりあでの出展では、親子で参加できるミニくむんだーをメインで体験活動が行えた。 ユニットが一回り小さく扱いやすいため、親御さんから最初の組立に協力してもらい、仕組みを理解してもらいつつ、親子で一緒に体験できる活動を初めてきちんと行う事ができた。 子ども達の集中力に驚く親御さんからは「家にも欲しい！」というお声をいただきうれしく感じた。
今後の展望	●現在、豪雨災害を受け遊び場がなくなってしまった酒田市大沢地区の子ども達に、外遊びが行えるようにくむんだーを出展するタイミングを設けたいと検討している。 ●鶴岡市内小学校へは、「出前授業を行えます」というPRチラシの配布を行った。 再来年度以降は運営維持のため、できれば出展謝金を頂けるような態勢にできたらと考えている。 ●くむんだー自体は個別購入可能な商品として取り扱えるものであるため、個別購入を希望する個人や団体が発生した場合は、対応できるように検討したい。



団体概要

団体名 つるおか伝統木構法千年塾
(くむんだー山形)

代表者 剣持 大輔

H P <https://kumundar.net>

(全国「くむんだー」木のジャングルジム協会)

Facebook

くむんだー山形



令和6年度山形県NPO活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	木のジャングルジムで森林循環教育と日本の伝統木構法技術体験
団体名	つるおか伝統木構法千年塾(くむんだー山形)

1 収入の部

(単位:円)

区分	精算額	内容
県補助金	1,000,000	令和6年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	10,000	ほとりあ出展
その他収入	4	ポイント収入
自己資金	356,108	スタッフ持出し金
合計	1,366,112	

2 支出の部

(単位:円)

区分	精算額	内容
謝金	142,500	くむんだーメンテナンス費
旅費		
印刷製本費	7,952	PRチラシ
消耗品・材料購入費	606,590	くむんだー材料費、 安全対策備品
通信運搬費	48,070	くむんだー運搬費
保険料		
使用料		
人件費		
(委託費)	561,000	新規くむんだー製作依頼費
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	1,366,112	